



TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

「慣れてきたころにある落とし穴とは？」

皆さんこんにちは！坪田塾星ヶ丘校講師長の岩田です。

5月になりました。

新しい学校、学年になって1ヶ月、
そろそろ新しい環境に慣れてきた時期だと思います。
世の中では、慣れてきたころに、
落とし穴に落ちることが多々あります。
今月はそんな話についてしたいと思います。



ぜひ、ご一読ください！

● 5月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



坪田塾

TSUBOTA JUKU

慣れてきて、よく起こるのが、時間にルーズになることです。

はじめのうちは、余裕で間に合う時間に学校に行っていたのに、
だんだん時間ギリギリの通学になっていく。

とか、部活の時間に遅れだす。とか、まず時間に対して表れることが多いです。

これは社会人も同じで、新人のころは一番に会社に来て、掃除までしていたのに、
だんだん来る時間が遅くなり、掃除もしなくなる。

こういった経験は、親御さん、お子さんにもあると思います。

私も 20 年近く塾の講師をしていて、ほぼ「普遍の真理」だと感じたことがあります。

それは

「時間を守らない生徒は、成績が大きく伸びることはない」

ということです。

この時間というものは、「遅刻、欠席、振替」を意味します。

もちろん、いろいろな理由があることはわかっています。

「学校の行事」は仕方ない面もあります。

しかし、他の理由の場合は

「要するに勉強よりも他のことを優先しているってことだよね」

ということです。

二の次にしか意識していないことの能力が上がるはずがありません。

「他に用事が入って」「今日は疲れちゃって」など、社会人では一切通用しない理由です。

「だって、私達、まだ社会人じゃないし～」

その通りです。

だからこそ、今から意識して練習しなかったら、いつからやるんですか？ってことです。

「就職してからやります！」

難しいでしょう。

人の習慣がすぐには変わらないことは、みなさん自身が一番よくわかっているはずですよ。

「中学生になったら毎日勉強する～」

「高校生になったので、心をいれかえる！」

多分、みなさんが一度は言った言葉だと思います。

そして多くの人ができなかったことだと思います。

「考え方、習慣」を変えるには多くの時間を必要とするのです。

スポーツでも、芸術でも、勉強でも、実力をつけるためには、

「真剣に、全力で」やらなくてはならないということは、みなさん、わかっていると思います。

部活でレギュラーになろうと思ったら、毎日ヘトヘトになるまで全力で練習するはずですよ。

休まずに部活に参加するはずですよ。

部活に来たり来なかったり、遅刻したり、適当にダラダラ練習をしている子で、

メキメキと実力をつけてレギュラーを勝ち取った子って、まわりにはいないはずですよ。

「今日、疲れてるから部活に行かね～」

というレギュラーはいないと思います。その疲れているなかでも全力を尽くして練習している。

それを繰り返すことによって。実力をつけていくのです。

勉強も同じですよ。

「今日、疲れたから振替しよ～っと」

「無理にいかなくてもいいじゃん」

「少しくらい遅れても」

こういった考えでは、受験でも、社会人でも通用しません。

人間が成長するのは「できるか、できないか、ギリギリのところで行動する時」なのです。

楽なことを繰り返しても、意味はありません。

苦しいときほど、頑張って行動する。

そして自分の限界を知る。

そして限界を突破する。

その第一歩が、休まずに予定通りにコツコツ続けることです。

そしてこれは能力の問題ではなく、意識の問題です。

誰でもできることです。

「時間を守る」ことを、今まで以上に意識して行動してみてください。

きっと少しずつですが変わっていきますよ。



坪田塾

TSUBOTA JUKU